○ 算定式

・ 建設工事等

予定価格算出の基礎となった次に掲げる額の合計額（千円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）とします。

ただし、その額が、予定価格に10分の9.2を乗じて得た額を超える場合にあっては10分の9.2を乗じて得た額とし、予定価格に10分の7.5を乗じて得た額に満たない場合にあっては10分の7.5を乗じて得た額とします。（千円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）とします。

（最低制限価格）

1. 直接工事費の額に10分の10を乗じて得た額（10円未満切捨て）
2. 共通仮設費の額に10分の9を乗じて得た額（10円未満切捨て）
3. 現場管理費の額に10分の9を乗じて得た額（10円未満切捨て）
4. 一般管理費等の額に10分の6.8を乗じて得た額（10円未満切捨て）

（調査基準価格）

1. 直接工事費の額に10分の9.7を乗じて得た額（10円未満切捨て）
2. 共通仮設費の額に10分の9を乗じて得た額（10円未満切捨て）
3. 現場管理費の額に10分の9を乗じて得た額（10円未満切捨て）
4. 一般管理費等の額に10分の6.8を乗じて得た額（10円未満切捨て）

なお、特別なものについては、上記にかかわらず、契約ごとに10分の7.5から10分の9.2までの範囲内で市長が定める割合を予定価格に乗じて得た額とします。

・ 委託業務（測量・建設コンサルタント等）

予定価格算出の基礎となった次の表①から④までに掲げる額の合計額（千円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）とします。

ただし、測量業務に係る契約については、その割合が10分の8.2を超える場合にあっては10分の8.2と、10分の6に満たない場合にあっては10分の6とするものとし、建設工事監理業務に係る契約については、その割合が10分の8.1を超える場合にあっては10分の8.1と、10分の6に満たない場合にあっては10分の6とするものとし、地質調査業務に係る契約については、その割合が10分の8.5を超える場合にあっては10分の8.5と、10分の6.7に満たない場合にあっては10分の6.7とするものとします。（千円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）

業務区分	① (10円未満切捨)	② (10円未満切捨)	③ (10円未満切捨)	④ (10円未満切捨)	最低制限価格 (千円未満切捨)
測量業務	直接測量費	測量調査費	諸経費の10分の5	—	①～③の合計額
建築コンサル業務	直接人件費	特別経費	技術料等経費の10分の6	諸経費の10分の6	①～④の合計額
土木コンサル業務	直接人件費	直接経費	その他原価の10分の9	一般管管理費の10分の5	
補償コンサル業務	直接人件費	直接経費	その他原価の10分の9	一般管管理費の10分の5	
地質調査業務	直接調査費	間接調査費の10分の9	解析等調査業務費の10分の8	諸経費の10分の5	

※ 複数の業種種目を含む委託業務の場合は、それぞれの業種種目ごとの額を合算した額とします。